

## 学部便り 理学部 有馬一成

皆様ご存知の通り、昨年、鹿児島大学理学部の前身である第七高等学校造士館 OB の赤崎勇さんがノーベル物理学賞を受賞されました。理学部同窓会を代表して、まずはお祝い申し上げます。

今年は理学部創設 50 周年です。幹事として何か企画をしなければ・・・と考えつつ、引き受けて 1 年目の幹事、プレッシャーも少なからず感じておりました。

理学部は小さな学部で、同窓会の活動も活発というわけではありません。総会の案内を送るのも、離島を除いた鹿児島県内の方だけ・・・。それでも 2 年に 1 回の総会および懇親会を楽しみにしている同窓会員の方は多いようです。そういう思いを抱えながら、年が明けた 1 月 10 日土曜日、理学部同窓会総会の日を迎えました。今回は会長、副会長 2 名、学部長、副学部長をはじめ 23 名の会員の方々に出席していただきました。今回はとりわけ、若い人たちの参加が多かったことが幹事として嬉しかったです。

総会では活発な議論がなされ、今度の同窓会の方向性が見えたような気がしました。理学部創設 50 周年記念事業は、理学部設置ではなく、理学部 1 期生を送り出して 50 年の 2019 年に行えばよいとの結論に達しました。4 年後に向けて祝賀会の企画や寄附のお願いなど忙しくなりそうです。

引き続いての懇親会では、美味しい中華料理をいただきながら懐かしい話しに花を咲かせました。学生も 2 名参加してくれ、当日の運営を手伝ってくれました。なんでも、フカヒレのスープを初めて食べたそうで、さぞ美味しかったことでしょう。私も学生時分、同窓会のお手伝いをし、普段は口にできないものをいただいたことを思い出していました。

参加者が少なかったこともあり、一人ひとり自己紹介をする時間を取ることができました。参加された皆さん全員と話しができたようで、とてもよかったです。あまりにも話しが弾んでため、時間が押してしまい、最後に北辰斜めを歌えなかったことが残念でした。

最近の学生は、巻頭言や北辰斜めを知らないようです（寮生が歌い継いでいてくれるのは救いです）。OB としては、第七高等学校造士館および文理学部の伝統を継承しつつ、新しい理学部の発展に向けて、なお一層邁進しなければならないと気を引き締めています。幸いにして理学部同窓会は、関係各位の努力によって立派なホームページを公開しております。理学部の活動を知ることができるとともに、七校時代からの懐かしい写真を見ることができます。鹿児島大学の歴史を知ることは愛校心、ひいては誇りにつながると思います。ぜひ一度、理学部同窓会のホームページをお訪ねください (<http://www.sci.kagoshima-u.ac.jp/~dosokai/dosokai/>)。